

大槌の子



大槌町立大槌学園 園報No.21 令和5年3月6日発行

学園朝会 〈感謝の会〉

3月1日（水）、毎日の登下校で大変お世話になっている保安員さんとスクールバスの運転手さんをお招きし、感謝の会を開催しました。

この日は、ご都合のつく5名の方々にお越しいただき、児童生徒達から感謝の手紙を贈りました。保安員さんを代表して安渡インターで見守ってくださっている佐藤さんから、運転手さんを代表して赤浜スクールバスの佐々木さんから、それぞれお話をいただきました。「皆さんの明るい挨拶を聞いて、元気をもらっています。これからも交通安全に気を付けて元気に登校してほしいです。」「縁石に上って歩くのは危険です。絶対にやめましょう。自分の命を守るのは自分です。」など、日頃感じている思いをお話してくださいました。

保安員さん方には、雨の日も雪の日も欠かさず子ども達を見守っていただきました。登下校で出会う子ども達に、「今日も頑張るんだよ。」「給食美味しかったかい?」「元気ないなあ。どうしたの?」など、毎日温かい声かけをしてくださっています。スクールバスの運転手さんには、停留所で降りた子どもを反対側の道路まで送っていただいたり、忘れ物を届けていただいたりと様々な場面で温かい配慮をいただいています。

保安員さんと運転手さん方のお陰で、子ども達は毎日安全にそして楽しく登校できております。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。



保安員の佐藤さん



運転手の佐々木さん





6・7年集会

間もなく前期課程を修了し後期課程へ進級する6年生に向けて、7年生から後期課程の学習内容や生活のきまりなどについて伝える集会が行われました。制服のきまりや部活動、教科の内容や期末テストの実施など、具体的に教えてもらい、6年生は安心して7年生へ進級できるでしょう。7年生さん、ありがとうございました。6年生の良き先輩としてこれからもよろしくお願いします。



7年生 ふるさと科発表会

ステップ期のまとめとして、7年生がふるさと科で学んだ『防災学習』について、5・6年生に伝える発表会を行いました。震災当時の様子や被害の状況、準備しておきたい防災グッズなど、学んできたことをスライドを使って説明しました。発表を聞いた5年生の東梅優さんは、「震災を忘れない、忘れさせないことが大切」と感想を話していました。また、6年生の袈岩らんさんは、「7年生になったら、防災学習を充実させられるよう頑張りたい。」と話していました。

間もなく震災から13回目の3月11日を迎えます。7年生の発表から、「自分の命は自分で守る」ことの大切さを改めて強く感じました。



4年生 生と性の学習

2月27日(月) 4年生が【ハッピーバース研究会 まんまるママいわて代表理事】助産師の佐藤美代子さんを講師にお迎えし『生と性の学習』を行いました。

小さな紙を渡され「何だろう」と不思議に思う子ども達。しばらくして「穴が開いている」ことに気付き歓声を上げていました。紙に針を刺したその針の穴が、お母さんのお腹の中にいる赤ちゃんの最初の大きさを知ると、歓声はますます大きくなりました。命のはじまりがこんなに小さく、無事に生まれてくるまでに大変な苦勞があることを子ども達は知ったようです。生命の神秘、産んでくれたお母さんや育ててくれた家族への感謝、自分の命や友達の命の大切さなど、たくさんの気づきがあった貴重な学習となりました。